

令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

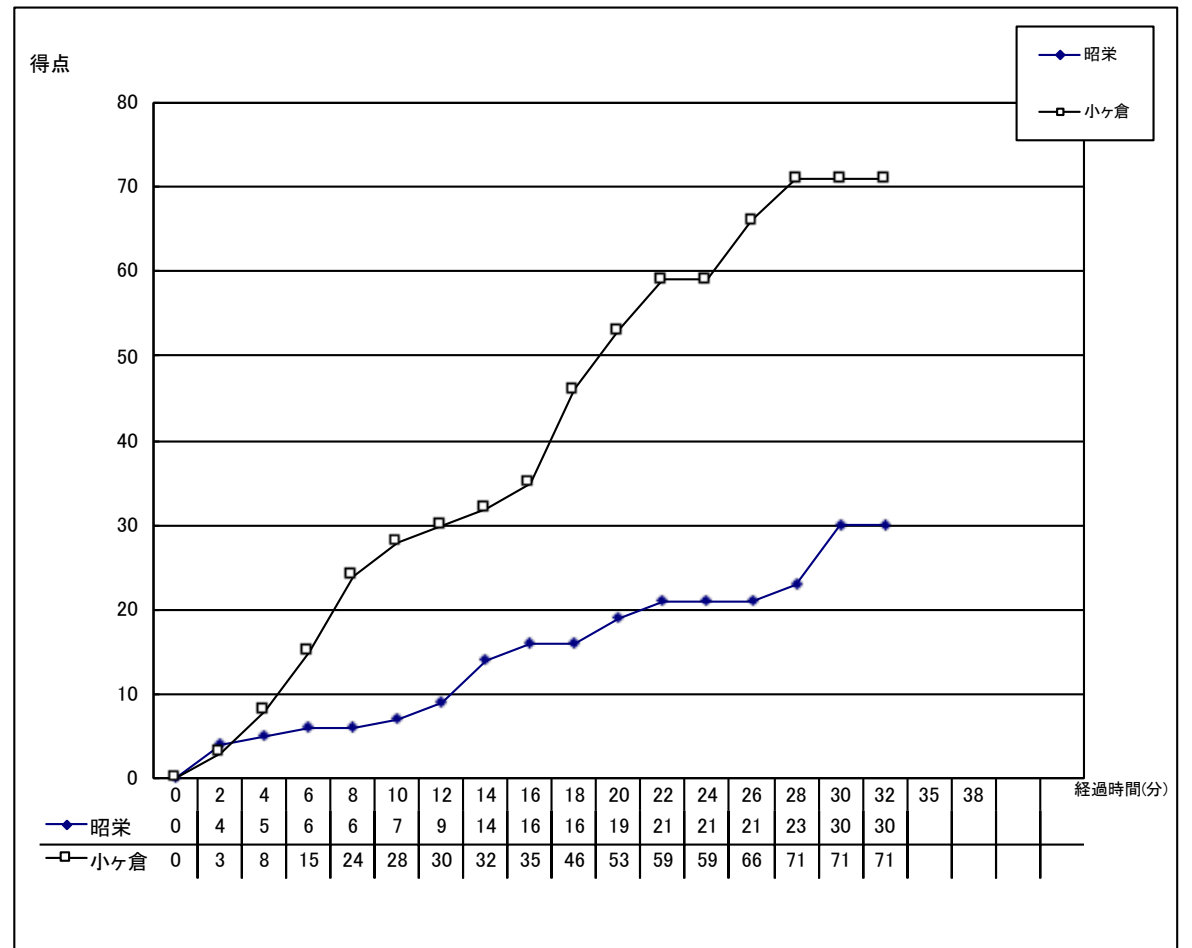
個人データ表

男子 準決勝	令和5年8月10日	10:50 開始
会場： ナースパワーアリーナ	Bコート	第2試合
主審： 豆塚直男	副審： 澤邊匡佑 佐多裕樹	

昭栄	30	6	1 Q	24	71	☆ 小ヶ倉 長崎
佐賀		10	2 Q	11		
		5	3 Q	24		
		9	4 Q	12		

昭栄												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	北島 彩都	3		2		2	3	4	3	1		1
○ 5	南里 明玲	6		1	3	8			1	6		6
6	生林 伶音			1		1						
○ 7	石井 宏汰			1					2	1		1
8	小玉 翔弥	3	1	5		1				1		1
9	中島 青龍	3		2	1	4	1	4		1	1	2
10	碓 尚斗	3			1	2	1	2	1		1	1
11	浅尾 優心	3	1	2		1			1			
12	大隈 優斗					1						
○ 13	石井 秀汰	8	1	1	2	4	1	2	3	4	3	7
○ 14	田中 伶明	1				5	1	5	1	2		2
15	田川 道新											
16	池田 悠真											
17	古賀 琥太郎											
18	松崎 陽太											
コーチ	篠崎 文昭											
合計		30	3	15	7	29	7	17	12	16	5	21
成功率			20.0%		24.1%		41.2%					

小ヶ倉												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
1	梶 優規	11	1	2	4	5			2		1	1
2	揚野 聡介	13	3	7	2	3		1	2	2	1	3
3	徳永 大雅			1		1				2		2
○ 4	高平 爽太	6		1	2	5	2	4		1	2	3
○ 5	工村 祥元	2			1	1			3		1	1
○ 6	山下 璃空	12		1	5	8	2	4	2	5	1	6
○ 7	池田 一颯	12		1	6	10					1	1
○ 8	川内 漱也	3	1	4					1	1		1
9	滝川 雄翔			3		1			1		1	1
10	藤本 海斗	2			1	3			2	5	3	8
11	山口 翔			1					1			
12	生駒 大成	2		2	1	2			2		2	2
13	岡田 莉空	8	2	3	1	1					1	1
14	野上 大輝			1		3		2	2		1	1
15	永留 大			1		1				2	1	3
コーチ	永野 大輔											
合計		71	7	28	23	44	4	11	18	18	15	33
成功率			25.0%		52.3%		36.4%					



《戦評》

1Q: 昭栄はハーフマンツーマン、小ヶ倉はオールコートマンツーマンでスタート。小ヶ倉が#6の鋭いドライブから先制。昭栄も#4が3Pのファールをもらい3本ともきっちり沈める。小ヶ倉が#4のドライブ、#7のミドルで得点を重ねると残り5:06で昭栄がタイムアウト。昭栄は#5を起点に攻めるが小ヶ倉#5の厳しいディフェンスに阻まれ得点できない。小ヶ倉はディフェンスから速攻に繋げ#7#6の連続得点で点差を二桁に広げる。終了間際小ヶ倉の素早いボールムーブから#8が3Pを決め24-6で1Qが終了。

2Q: 開始早々小ヶ倉#7のドライブからの華麗なシュートで得点を奪うと#6のリバウンドシュートでさらに加点する。昭栄も#5#14のドライブからゲームを作ろうとするも得点に繋げることができず、残り5:08で前半2回目のタイムアウト。昭栄はアイソレーションから#5がミドルシュートを決め流れを掴もうとするが、小ヶ倉#14の固いディフェンスの前になかなか活路を見出せない。昭栄は終了間際に#13が2本目の3Pを決めるがディフェンスからの速攻で得点を重ねた小ヶ倉が35-16とリードし2Qが終了。

3Q: 小ヶ倉がオールコートからプレッシャーをかけ#2のスティールから速攻、#1の3Pなどで一気に点差を広げる。昭栄も#8のステップバックからの3Pで応戦するが激しいディフェンスの前に追加点を奪えない。その後互いにミスが続き得点が伸びない中、小ヶ倉#2がこの試合3本目の3Pで加点し59-21で3Qが終了。

4Q: 小ヶ倉は#9から#12への合わせ、#13の3P、#1のドライブと5人が躍動し攻撃の手を緩めない。昭栄も#13のドライブを起点にディフェンスを崩し、#10のリバウンドシュートで得点する。さらに#9のインサイドプレーや#11の3Pで連続得点。その後は互いにドライブから切り崩し得点を狙うが点数には繋がらず71-30で試合終了。小ヶ倉が固いディフェンスとスピードのある多彩なオフェンスで決勝進出を果たした。互いにディフェンス力が高く、緊張感のある素晴らしい試合であった。

戦評記入者 荒川龍浩 (熊本市立日吉中学校)